



## インストールの前提条件

この章は、次の内容で構成されています。

- サポートされるプラットフォーム, 1 ページ
- サポートされる Web ブラウザ, 2 ページ
- 必須のポート, 2 ページ
- システム要件, 4 ページ
- Cisco UCS Central をインストールするための重要な前提条件, 6 ページ

## サポートされるプラットフォーム

次の表に、Cisco UCS Central のインストール用にサポートされるプラットフォームを示します。

ハイパーバイザ	サポートされるバージョン
Microsoft Hyper-V	Windows 2008 R2 SP1 Windows 2012 Microsoft Hyper-V Server 2012 R2
VMware ESX	• ESX 5.0 U3 • ESX 5.1 • ESX 5.5 • ESX 6.0
KVM ハイパーバイザ	Red Hat Enterprise Linux 6.5 の KVM ハイパーバイザ

## サポートされる Web ブラウザ

Cisco UCS Central GUI でサポートされる Web ブラウザは、Cisco UCS Central GUI を実行するコンピュータのオペレーティングシステムによって異なります。

オペレーティングシステム	サポートされる Web ブラウザ
Microsoft Windows	<ul style="list-style-type: none"> <li>Internet Explorer 9 以降</li> <li>Firefox 29 以降</li> <li>Chrome 34 以降</li> <li>Adobe Flash Player 11.7 以降</li> </ul>
Mac OS	<ul style="list-style-type: none"> <li>Firefox 29 以降</li> <li>Chrome 34 以降</li> <li>Safari 6 以降</li> <li>Adobe Flash Player 11.7 以降</li> </ul> <p>Chrome ブラウザでは、バンドルされた Flash プレーヤーを削除してから Adobe Flash プレーヤーをインストールします。</p>
Linux RHEL	<ul style="list-style-type: none"> <li>Firefox 29 以降</li> <li>Chrome 34 以降</li> <li>Adobe Flash Player 11.7 以降</li> </ul>

## 必須のポート

### Cisco UCS Central と Cisco UCS ドメイン間の通信

Cisco UCS Central と Cisco UCS ドメイン間の管理通信を可能にするために、次のポートが Cisco UCS Central と登録済みの Cisco UCS ドメイン間で開いている必要があります。

ポート番号	デーモン	プロトコル	使用法
32803	LOCKD	TCP/UDP	ファームウェアの管理およびバッカアップ。

ポート番号	デーモン	プロトコル	使用法
892	MOUNTD	TCP/UDP	ファームウェアの管理およびバッカアップ。
875	RQUOTAD	TCP/UDP	ファームウェアの管理およびバッカアップ。
32805	STATD	TCP/UDP	ファームウェアの管理およびバッカアップ。
2049	NFS (注) Cisco UCS Manager リリースバージョン 2.1(x) および 2.2(x) に必要です。Cisco UCS Manager 3.0 には必要ありません。	TCP/UDP	ファームウェアの管理およびバッカアップ。
111	SUNRPC	TCP/UDP	ファームウェアの管理およびバッカアップ。
443	-	TCP/UDP	Cisco UCS Central と Cisco UCS Manager 間のファイアウォールを介した通信をイネーブルにします。

### Cisco UCS Central とクライアントブラウザ間の通信

次のポートは、Cisco UCS Central とクライアントブラウザ間での通信をイネーブルにするために開いている必要があります。

ポート番号	デーモン	プロトコル	使用法
80	-	TCP	クライアントブラウザと Cisco UCS Central 間の通信。

ポート番号	デーモン	プロトコル	使用法
843	-	TCP	クライアント ブラウザと Cisco UCS Central 間の通信。
443	-	TCP	クライアント ブラウザと Cisco UCS Central 間のファイアウォールを介した通信をイネーブルにします。

## システム要件

### スタンドアロンインストール

スタンドアロンモードで Cisco UCS Central をインストールする場合は、次のシステム要件を満たしていることを確認します。

#### サーバタイプ

Cisco UCS Manager に管理されないまたは Cisco UCS ドメインに統合されないスタンドアロン ラック サーバで実行される VMware または Hyper-V hypervisor 上に、Cisco UCS Central を配置することを推奨します。サーバは、可能であれば高速のストレージアレイからプロビジョニングされる、高速なデータストアである必要があります。

#### サーバ要件

以下の表に、次のプラットフォームでの Cisco UCS Central のインストールの最小要件を示します。

- ESX
- Hyper-V
- KVM ハイパーバイザ

項目	ESX、Hyper-V、および KVM ハイパーバイザの最小要件
ディスク 1	40 GB
ディスク 2	40 GB
RAM	12 GB
vCPU コア	4 コア

項目	EXS、Hyper-V、およびKVM ハイパー-バイザの最小要件
ディスク読み取り速度	75 Mbps 以上 125 MBps 以上が推奨される速度です。

(注)

- さらに多くのサーバ（たとえば、200 ドメイン/6000 サーバ）を管理する場合は、RAM を 16 GB に増やしてください。
- Cisco UCS Central のパフォーマンスは、vCPU、RAM またはディスク速度の最小要件を満たしていないサーバで導入する場合は保証されません。
- VM の設定を変更する前に、電源をオフにしてください。
- クラスタセットアップに NFS を使用する場合、適切なシステムパフォーマンスを確保するため、ネットワーク遅延が 0.5 ms 未満となるようにします。

サーバのディスク読み込み速度が Cisco UCS Central の展開中に最低限必要な速度を下回る場合、インストーラが警告メッセージを表示しますが、展開を完了できます。ただし、ディスク読み込み速度が動作時に最低限必要な速度を下回る場合、ディスク読み込み速度の遅さに応じて、次の表に示す障害が Cisco UCS Central で発生します。

サーバのディスク読み込み速度	障害レベル
75 Mbps 以下	致命的な障害
75 ~ 100 Mbps	重大な障害
100 ~ 125 Mbps	マイナーな障害
125 Mbps 以上	該当なし

### サポートされるデータベース サーバ

次の統計情報収集用データベース サーバがサポートされています。

- Oracle Database 11g Enterprise Edition Release 11.2.0.1.0 64 ビット製品以降
- PostgreSQL Server 9.1.8 64 ビット以降
- Microsoft SQL Server 2012 (SP1) - 11.0.3000.0 (X64) 以降
- Microsoft SQL Server 2008 R2 10.50.1600.1 (X64) SP1 以降

統計情報データが外部データベース サーバに保存されている場合、データベース サーバのディスク容量要件として次の参照データを考慮してください。

**Cisco UCS Central をインストールするための重要な前提条件**

- 20 個の Cisco UCS ドメインを登録すると、1 年間統計データを保存するために必要な最小限のストレージ容量は 400 GB です。
- 100 個の Cisco UCS ドメインを登録すると、1 年間統計データを保存するために必要な最小限のストレージ容量は 2 TB です。

**クライアントシステム**

クライアントシステムに必要な最小メモリは、4 GB です。ただし、40 以上登録された Cisco UCS ドメインがある場合、クライアントシステム上のメモリが少なくとも 8 GB あることを推奨します。

**クラスタのインストール**

ハイ アベイラビリティを有効にし、クラスタ モードで Cisco UCS Central をインストールする場合、スタンドアロンインストール用に指定されたすべての要件および次の共有ストレージを満たす必要があります。

- ESX の最小要件 : 40 GB
- Hyper-V の最小要件 : 40 GB

**リモート ロケーションでの Cisco UCS ドメインの管理**

リモートのブランチオフィスなどのリモート ロケーションでの Cisco UCS ドメインの管理には、以下が Cisco UCS ドメインと Cisco UCS Central 間のネットワーク接続のための最小要件になります。

- 帯域幅 - 1.5 Mbps 以上
- 遅延 - 500 ミリ秒 (ラウンド トリップ) 以下

**Cisco UCS Central をインストールするための重要な前提条件**

Cisco UCS Central をインストールする前に、次の情報が必要です。

- Cisco UCS Central のスタティック IPv4 アドレス
- IPv4 ネットマスク
- デフォルト ゲートウェイ
- Cisco UCS Central 管理者アカウントに割り当てるパスワード。新しいパスワードを作成します。
- 仮想マシン (VM) のホスト名
- DNS サーバを使用する場合の DNS サーバの IPv4 アドレス

- DNS ドメインを使用する場合の Cisco UCS Central を追加する DNS ドメイン名
- 共有秘密 これは、Cisco UCS Central に Cisco UCS ドメインを登録するときに必要なパスワードです。
- 共有ストレージ。 これは、スタンドアロンインストールのための任意選択で、クラスタのインストールに必要です。

